

令和6年12月13日

小松市未来型図書館等複合施設の整備に向けた サウンディング型市場調査の結果概要について

小松市では、「市民と共に創る未来型図書館」を目指し、芦城公園周辺の公共施設マネジメント事業と一体となった総合プロジェクトとして検討を進めています。

これまでの基本構想(令和4年度)及び事業方針(令和5年度)を踏まえ、リビングラボでの市民との対話や有識者で構成するアドバイザリーボードからの助言を頂くとともに、民間事業者との個別対話等も実施しながら、今後の施設整備や管理運営の重要な方針となる基本計画の策定に取り組んでいます。

本調査は、令和5年度に引き続き、幅広い民間事業者の皆様との対話を通じ、未来型図書館の整備・運営手法、芦城公園の一体的な活用方策、施設整備に伴う駐車場のあり方の可能性等について、広くご意見やご提案をお聞きし、令和6年度の基本計画策定に反映することを目的とし、民間事業者と個別に対話を行ったもので、その結果概要を公表します。

1. 調査の経過

日程	
事業概要資料及び事前アンケートによる個別対話の実施	令和6年 8 月 21 日(水)～10 月 25 日(金)

2. 参加者

アンケートに回答いただいた34者と個別対話を実施しました。(Web 会議で実施)

区 分	参加者数
建設	12
不動産開発	5
運営・維持管理	9
情報システム	3
サービス企業	4
その他	1

※参加事業者の名称は非公表とします。

3. 対話テーマ

対話は、以下のテーマを中心に実施しました。

- 本事業への関心など
- 民間施設の成立可能性(規模・機能・事業手法・合築／分棟など)
- 立体駐車場の整備・運営方針など
- 本事業に対する要望・懸念事項等
- 共創に関する工夫・エリアマネジメント業務に対するアイデア等

4. 主な意見

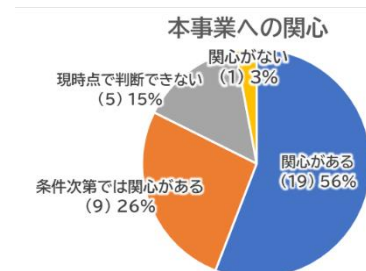
(1) 本事業への関心及び担いうる業務について

本事業への関心については、34者中28者が「関心がある」または「条件次第では関心がある」と回答があり、多くの事業者から本事業への関心の高さが伺えました。

本事業の中で、「統括マネジメント業務を担いうる」と回答した事業者は、14者でした。

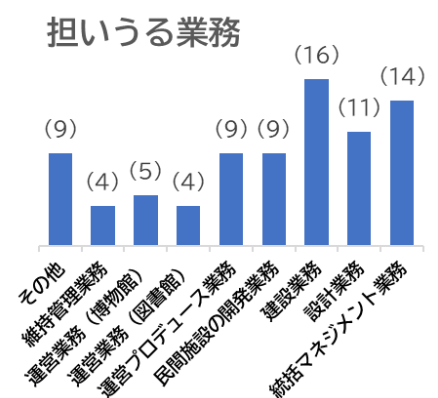
(本事業への関心)

回答	事業者数
関心がある	19
条件次第では関心がある	9
現時点では判断できない	5
関心がない	1



(担いうる業務)【複数回答可】

回答	事業者数
統括マネジメント業務	14
設計業務	11
建設業務	16
民間施設の開発業務	9
運営プロデュース業務	9
運営業務(図書館)	4
運営業務(博物館)	5
維持管理業務	4
その他	9



(2) 民間収益施設を含めた複合施設整備の望ましい事業手法について

民間収益施設を合築で整備する場合又は分棟で整備する場合の両方においても、複合施設の整備は、DBO 又はPFI(BTO)が望ましいと意見が多く、いずれの事業手法を採用しても競争環境は確保されると想定されます

一方で、民間活力を最大限に活かせるような柔軟な条件設定を望む声も寄せられました。

(民間収益施設を合築とした場合の望ましい事業手法)

【複数回答可】

事業手法	事業者数
DBO	17
PFI(BTO)	15
その他	3

(民間収益施設を分棟とした場合の望ましい事業手法)

【複数回答可】

事業手法	事業者数
DBO	23
PFI(BTO)	20
その他	5

(民間機能の導入可能性に対するご意見)

民間収益施設の成立可能性(合築)	○カフェについては、15/34 者から合築へのカフェ導入について前向きな意見があり、図書館の本を読みながら利用できる形態が望ましいとの意見も寄せられました。
民間収益施設の成立可能性(分棟)	○カフェについては、13/34 者から分棟での導入について前向きな意見がありました。また、合築の場合、利用者が複合施設の利用者に限定されるため、分棟の方が望ましいという意見も寄せられました。
既存施設の跡地への民間施設の導入可能性	○図書館跡地 16/34 者から桜の景観を活かした活用等が考えられるとの意見が寄せられました。 ○博物館跡地 11/34 者から、視認性に優れる点や複合施設に至近である点等を評価し活用が考えられるとの意見が寄せられました。

(3) 駐車場の管理運営について

未来型図書館の整備に伴い必要となる駐車場について、事業範囲に含めることに対する意見や民間事業の成立可能性とその機能について意見が挙げられました。

項 目	概 要
事業範囲に含めることの是非	○地域性や近隣の立地状況を考慮し、独立採算は困難であるという回答が多く挙げられました。 ○一方で、利用料金は徴収せず、駐車場の管理運営(立体駐車場の整備を含む。)を事業範囲に含めることについては、問題ないという意見が11/34 者から寄せられました。 (駐車場の整備・運営を事業範囲に含むことも可能であるが、独立採算型ではなく、サービス購入型が前提との意見)
駐車場への民間への民間収益施設の導入可能性	○7/34 者から、立体駐車場へ物販(コンビニ等)の導入可能性はあるとの意見が寄せられました。 ○立体駐車場への民間収益施設の導入は、個別認定が必要となり、認定までに日数を要することや費用が増大することが予想されるため、民間事業者の任意提案とすべきという意見も挙げられました。

(4) 共創に関する工夫・エリアマネジメント業務に対するアイデア等

項 目	概 要
整備・運営	○設計・施工～運営までの各段階において、ワークショップやアンケートなどの実施が想定。 ○市民が気軽に利用できる環境づくり。 ○将来を見据えた地元人材の育成。
公園の活用	○キッチンカー等の活用による利用者の満足度の向上。
近隣施設との連携	○近隣施設(博物館や美術館など)との連携。 ○IT を活用した企画。
その他	○駅周辺や市街地等からの距離感を考慮し、こまつシェアサイクルの活用や特定小型原動機付自転車等の導入。 ○什器・備品等の選定における市民参加。

5. その他

令和6年12月以降に、2度目のサウンディング調査を予定しており、事業者との対話を通じて、機能や整備・運営手法、芦城公園の一体的な活用等について、実現に向けた検討を進め、令和6年度の基本計画策定につなげてまいります。